

伝えたい、熱い気持ち。



救急救命士 消防士
辻 伸子

中学生のころ、友人が目の前で倒れたときに何をしてあげればいいのかわかりませんでした。そんな時、テレビで女性消防士の存在を知り、救急救命士の資格を取得後、今の職に就きました。

田原市初の女性消防職員として配属され、男性職員は体力の無い女性職員と働くことに不安を感じていたことと思います。そんな中、先輩からの指導を受けながら、日々の訓練や出動を繰り返し、役割を任せていただけられるようになり、現在は救急隊や消防隊として災害現場に出動したり、救命講習を行ったりしています。救急や災害現場に女の私がいることで驚かれる市民の方もいますが、患者さんや家族の方に「女性が来てくれてよかった」と言ってもらえることもあり、とてもやりがいを感じます。体力では男性に負けますが、女性だからこそできることを考えながら、活動をしていきます。



救助隊員 消防士長
杉原 禎道

小学生の頃、父親が消防団の分団長を務めており、日夜火災が起こるたび法被をまとって火災現場に向かう姿に憧れていました。

夢がかなない消防士として採用された今、どんな災害に対しても対応できるように、常在戦場の気持ちで、日々厳しい訓練を行っています。消防は隊というチームで活動します。勤務中はお互い切磋琢磨し厳しい訓練に取り組み、休日はスポーツなどで汗を流し、メリハリのある良き仲間とチームを築いています。

私たち消防士は、災害発生時、全力で対応しますが、現場で大切な命や財産を失う光景を目の当たりにする度に、火災は発生しない事が一番であると痛感します。そのために火災予防の啓発を始め、住宅用火災警報器設置の普及促進を行っています。

火災はちょっとした油断から発生します。日ごろから火の取扱いは十分注意し、火災の無い、安心して暮らせるまちにしましょう。



田原市の消防士は、田原が大好きです。田原市を「災害のないまち、災害の少ないまち」にすべく、日々活動しています。

職員一人ひとりが消防・救助・救急活動を万にできる消防本部を目指して業務や訓練に取り組んでいる姿を少しでも感じていただけたでしょうか。今後も、東三河の消防本部とも連携を取りながら、市民の皆さんの生命・身体・財産を守るお手伝いをしていきます。

近年、私たちの想像を絶する災害が発生し、消防だけでは対応できないことが起きています。

この特集をきっかけに、ご自身でできる防災や減災に取り組み、消防と市民の皆さんと力を合わせ、災害に強いまちを作りましょう。